

氏名	内山真理	部署	健康開発学科	職名	講師
研究分野	公衆栄養、栄養教育				
学位	博士(医学)				
学歴	1995年静岡県立大学食品栄養科学部栄養学科、1997年静岡県立大学大学院生活健康科学研究科食品栄養科学専攻修士課程、2005年東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科・環境社会医歯学系健康推進医学博士後期課程				
経歴	1997年飯田女子短期大学家政学科食物栄養専攻助手、2002年静岡県立大学食品栄養科学部栄養学科助手、2006年埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科講師				
所属学会(役職)	日本公衆衛生学会、日本栄養改善学会				

【2016年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	該当なし				
(2) 論文					
1	高血圧症をもつ地域在住中高年者のセルフマネジメント状況	共著	保健医療福祉科学,6巻 43-48	常盤 文枝, 原 元彦, <b>内山 真理</b>	2017.3
(3) 学会発表					
1	骨粗鬆症と転倒の予防教室参加者と非参加者の骨密度と体力およびQOLの比較	共著	第18回日本骨粗鬆症学会、仙台	○藤縄 理, 菊本 東陽, 須永 康代, 村田 健児, <b>内山 真理</b> , 善生 まり子, 萱場 一則, 廣瀬 圭子, 遠藤 直人	2016.10
2	添加物の摂取制限と階層意識・学歴・健康情報収集行動との関連 本邦・ハワイの比較	共著	第75回日本公衆衛生学会、大阪	○本間 三恵子, 延原 弘章, 若林 チヒロ, 北島 義典, <b>内山 真理</b> , 伊藤 奏, 加藤 朋子, 新村 洋未, 山口 乃生子, 金 さやか, 野口 有紀, 柳川 洋	2016.10
3	日本とハワイの健康関連ライフスタイルの国際比較	共著	第75回日本公衆衛生学会、大阪	○延原 弘章, 本間 三恵子, 若林 チヒロ, 北島 義典, <b>内山 真理</b> , 伊藤 奏, 加藤 朋子, 新村 洋未, 山口 乃生子, 金 さやか, 野口 有紀, 柳川 洋	2016.10
4	規則正しい生活習慣を心がけている人の特徴 ハワイ州と松本市(長野県)の検討	共著	第75回日本公衆衛生学会、大阪	○金 さやか, 延原 弘章, 本間 三恵子, 若林 チヒロ, 伊藤 奏, <b>内山 真理</b> , 加藤 朋子, 北島 義典, 新村 洋未, 山口 乃生子, 柳川 洋	2016.10
(4) その他					
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間
1	該当なし				
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	健康行動科学セミナー	2016.6	専門導入科目として、栄養学からの行動科学的アプローチについて事例を用いて解説した。		
2	健康栄養演習	2016.4-2016.8	簡易型自記式食事歴法、秤量法による食事調査を体験させ、食事調査の長所、短所を経験から理解させるように工夫した。また、食事調査結果を用いて、食事摂取状況のアセスメント、食事改善の計画をさせることにより、食事摂取基準の各指標の考え方、PDCAサイクルに基づく活用方法を理解させることができた。		

3	栄養学・食生活論①②	2016.10-2017.2	栄養学の専門知識を養うと共に、健康の維持・増進と疾病予防のために、栄養素から食品、料理レベルに置き換えて食生活へ応用ができるように意識して講義を行った。また、学生による授業評価意見のフィードバックおよび授業外での学習促進を目的に、講義資料をweb上でも配布し、授業以外における学習を促進できた。
4	食の科学	2016.10-2017.2	調理と健康を結びつけながら、おいしく、健康的に食するために必要な食品の各種成分の特徴を講義と調理科学実験を通して科学的に理解させることができた。また、e-ラーニングを活用し、授業外学習を促進した。
<b>(2) 演習</b>			
1	課題別演習 I	2016.4-2016.7	文献検索、文献講読、ゼミでの発表・議論など卒業研究に必要な基礎的スキルについて指導し、公衆栄養に関する文献購読(英文を含む)、ゼミ発表・議論を行った。
2	課題別演習 II	2016.10-2017.2	文献レビューを行い、卒業研究で取り組む研究課題に関する学術的背景、目的、社会的意義、研究方法について議論を繰り返し、研究テーマを決定した。
<b>(3) 実習</b>			
1	ヒューマンケア体験実習	2016.5-2016.10	2施設の学外実習について、施設訪問、学生指導、評価を担当した。
2	健康行動科学実習	2016.11	健康支援プログラム(栄養)の指導および監督を行った。
<b>(4) 論文指導</b>			
1	該当なし		
<b>(5) その他</b>			
1	学年担当	2016.4-2017.3	健康行動科学専攻1年生の学年担当として、学生のサポートを行った。
<b>4. 社会貢献活動</b>			
<b>(1) 講演会、研修会等の講師</b>			
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ
1	埼玉りそな銀行食育セミナー	埼玉りそな銀行	子どもから始める減塩
2	春日部市保健事業講師	春日部市	生活習慣病予防教室からだ革命！じゅくりクラス「栄養」
3	武里PTA食育講演会講師	春日部市武里大枝公民館	食育～子どもからはじめる減塩～
4	越谷市保健事業講師	越谷市	「健康的にやせる栄養の基礎」
開催年月	2016.5	2016.9	2016.12
2016.12			
<b>(2) 国、自治体、財団法人等における委員等</b>			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	該当なし		
<b>(3) ジャーナリズムでの発言</b>			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
<b>5. 学内運営(委員会委員)</b>			
1	情報図書委員会 委員		
2	ICT教育支援部会 部員		
<b>6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)</b>			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
<b>7. 特許の保有状況</b>			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
<b>8. 特記事項</b>			
	該当なし		